

②公開実用新案公報(U)

平1-92565

④Int.Cl.

F 16 K 7/16
11/044

識別記号

厅内整理番号

C-7718-3H
Z-7718-3H

③公開 平成1年(1989)6月16日

審査請求 未請求 (全3頁)

④考案の名称 流体用切換弁

⑤実願 昭62-188488

⑥出願 昭62(1987)12月11日

⑦考案者 宇野秀年 千葉県旭市鎌数10243番地 黒田精工株式会社旭工場内

⑧出願人 黒田精工株式会社 神奈川県川崎市幸区下平間239番地

⑨実用新案登録請求の範囲

(1) 駆動用バイロットピストンに連結された弁棒の先端へ伸縮部材の一端部を固着し該一端部へ弁体を設けると共に、弁ボディの弁室端へ弁室内径より大きい径の段差部を形成し、前記伸縮部材の他端部を該段差部直徑よりもわずかに小さい筒状に形成し、この伸縮部材の該他端部を段差部底へ配置した弾性リングと該筒状部内側へ配置した硬質材リングとにより位置決めしたことを特徴とするエアバイロット形流体用切換弁。

(2) 前記伸縮部材がダイアフラムあるいはペローズなどから成る実用新案登録請求の範囲第1項記載の流体用切換弁。

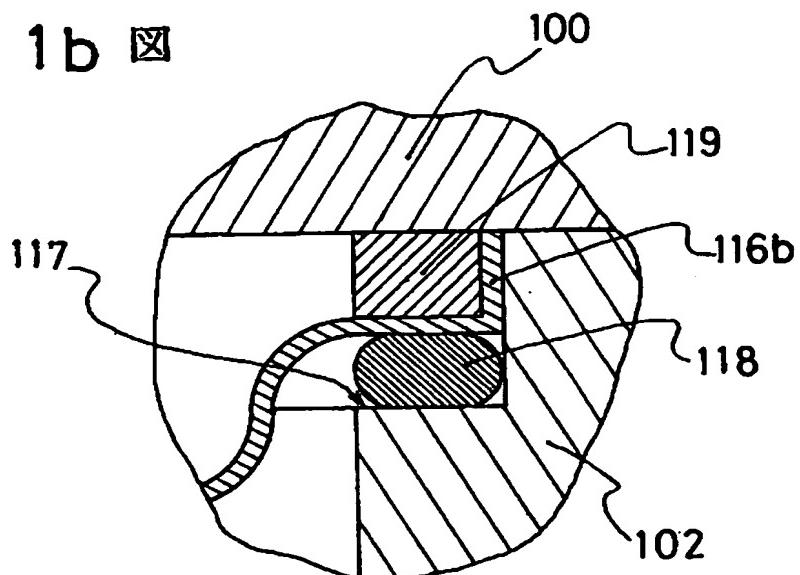
図面の簡単な説明

第1a図は本考案による流体用切換弁の実施例

の縦断面図、第1b図は第1a図のA部拡大図、第2図は本考案の他の実施例を示す流体用切換弁の縦断面図、第3図は従来例による流体用切換弁の縦断面図である。

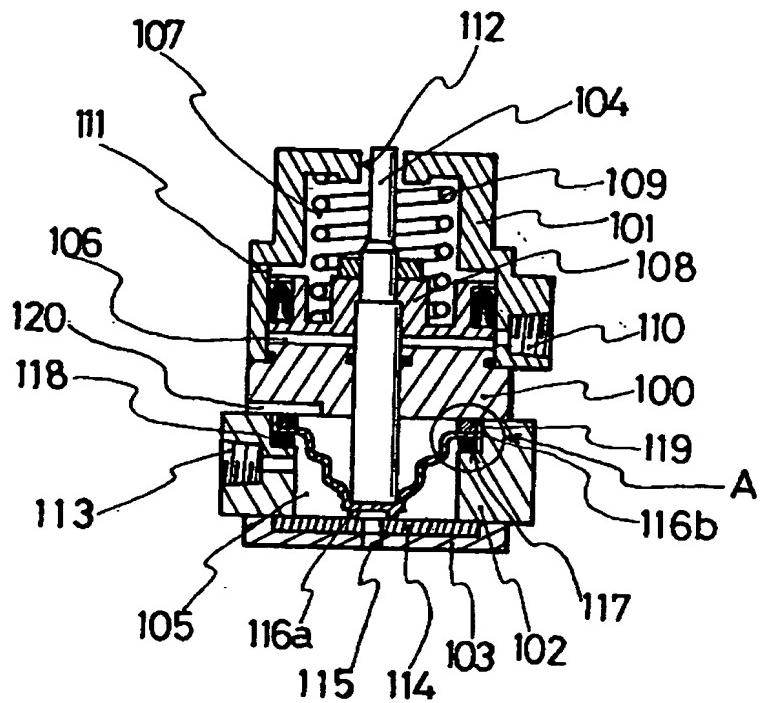
符号の説明、100……仕切部材、101……ピストンボディ、102……弁ボディ、104……弁棒、105……弁室、106……ピストン室、107……バネ室、108……ピストン、109……バネ、110……バイロットポート、113……流入ポート、114……弁座、115……出力ポート、116……伸縮部材、117……段差部、118……弾性リング、119……硬質材リング。

第1b図

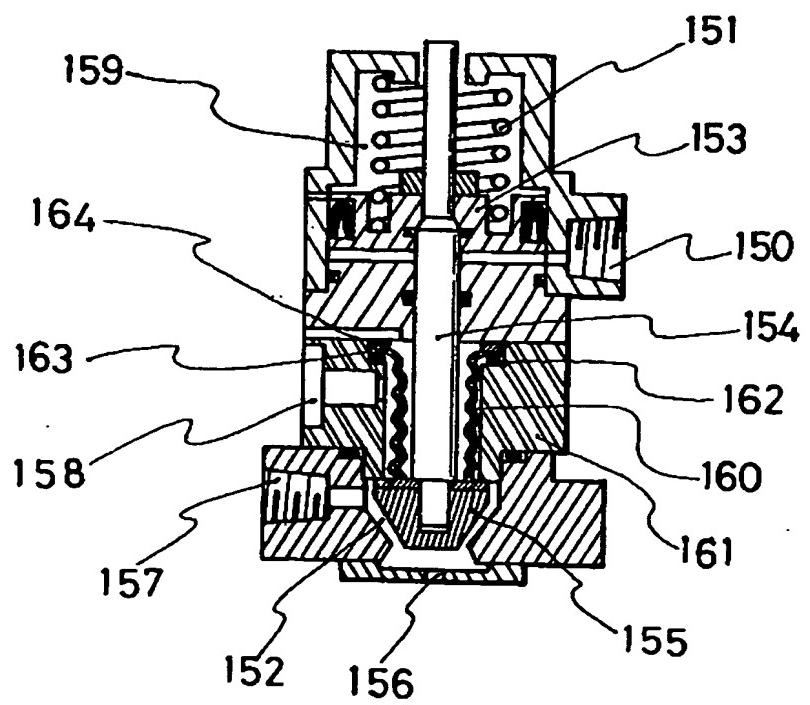


BEST AVAILABLE COPY

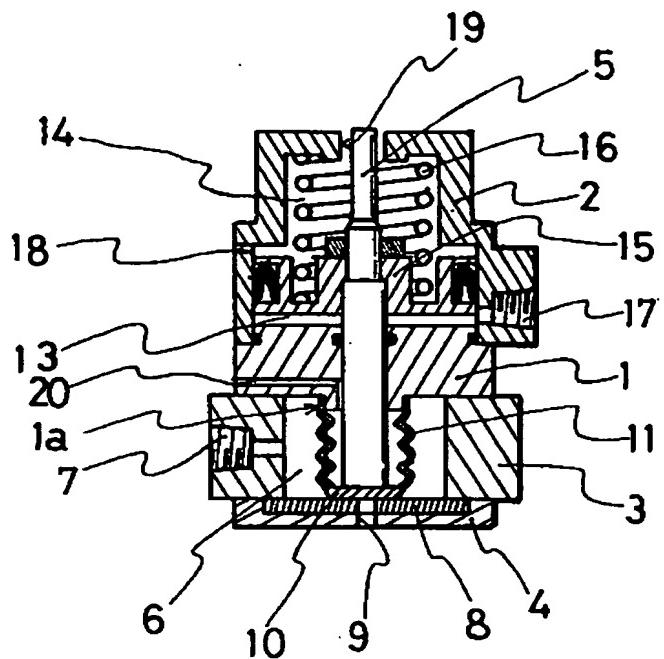
第 1a 図



第 2 図



第 3 図



公開実用平成1—92565

⑩日本国特許庁(JP)

⑪実用新案出願公開

⑫公開実用新案公報(U)

平1—92565

⑬Int.Cl.

F 16 K 7/16
11/044

識別記号

厅内整理番号
C-7718-3H
Z-7718-3H

⑭公開 平成1年(1989)6月16日

審査請求 未請求 (全頁)

⑮考案の名称 流体用切換弁

⑯突 願 昭62-188488

⑰出 願 昭62(1987)12月11日

⑱考案者 宇野秀年 千葉県旭市鎌数10243番地 黒田精工株式会社旭工場内

⑲出願人 黒田精工株式会社 神奈川県川崎市幸区下平間239番地

明細書

1. 考案の名称

流体用切換弁

2. 実用新案登録請求の範囲

(1). 駆動用バイロットピストンに連結された弁棒の先端へ伸縮部材の一端部を固着し該一端部へ弁体を設けると共に、弁ボディの弁室端へ弁室内径より大きい径の段差部を形成し、前記伸縮部材の他端部を該段差部直径よりもわずかに小さい筒状に形成し、この伸縮部材の該他端部を段差部底へ配置した弾性リングと該筒状部内側へ配置した硬質材リングとにより位置決めしたことを特徴とするエアバイロット形流体用切換弁。

(2). 前記伸縮部材がダイアフラムあるいはベローズなどから成る実用新案登録請求の範囲第1項記載の流体用切換弁。

3. 考案の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本考案は、例えば塗料やシンナー等の流体の流路を切換える流体用切換弁に関するものである。

(従来の技術)

この種の流体用切換弁としては、例えば第3図に示すようなエアバイロット形切換弁がある。この流体用切換弁は、仕切部材1によって一方のハウジングであるピストンボディ2と、区分された他方のハウジングを形成する弁ボディ3および弁座抑え4とから構成され、該弁ボディ3の中央部には仕切部材1を貫通してピストンボディ2から弁棒5の先端側が突設される弁室6が形成されていて、弁ボディ3の内部に位置する弁棒5の軸線方向に対して弁ボディ3の外周面から直角に弁室6に連通する流入ポート7が穿設されると共に弁室6の底部を形成する弁座8および弁座押さえ4の弁棒5の延長線上には出力ポート9が貫通形成されていて、弁棒5の先端に取付られた弁体10と仕切部材1端面間にベローズ11が溶接されている。

前記ピストンボディ2内には、ピストン室13とバネ室14とが形成され、該ピストン室13には前記弁棒5を支持したピストン15が摺動可能に収容されると共に、バネ室14には前記ピストン15を弁室

6 側へ付勢させるバネ16が縮設されている。またピストンボディ2には、ピストン15と仕切部材1間のピストン室13内に連通するパイロットポート17と、ピストン15の前進または後退作動のための呼吸孔18と、弁棒5の基端部が挿通される貫通孔19とが各々穿設され、仕切部材1にはベローズ11の作動のための呼吸孔20が穿設されてパイロット部を構成している。

以上の構成による流体用切換弁は、パイロットポート17を介してピストン室13に供給される圧縮空気信号をOFFの状態にすると、ピストン15に支持された弁棒5はバネ16の弾発力によって弁室側へ前進し、弁棒5の先端に装着された弁体10が弁座8に当接するので、流入ポート7から出力ポート9へ流れる流体の流路が閉塞される。次にパイロットポート17に供給する圧縮空気信号をONの状態にするとバネ16の弾発力に抗してピストン15および弁棒5は流入する空気圧力により後退し、弁座8に当接していた弁体10が離れて流入ポート7から出力ポート10とが連通する。

このようにして、弁棒5と一緒に前進又は後退作動する弁体10によって流入ポート7から流入した流体は流出又は停止する。

(考案が解決しようとする問題点)

しかしながら前記した従来の流体用切換弁の構造によると塗料用切換弁として使用する場合、供給される塗料やシンナー等の流体が弁駆動部であるピストン室13に浸入しないように取りつけられたベローズ11は、耐塗料性を確保するため例えばステンレス等の材料が用いられており、該ベローズを仕切部材端面1aへ密着させるために溶接が行われていた。そのため仕切部材1の材質もベローズ11と同じようにステンレス等の材料を用いなくてはならず大型化し且つ重くなり塗装用ロボットのハンド部分等に搭載するには適さなかった。

本考案は、これらの問題点を改善しうるエアパイロット形の流体用切換弁の提供を目的とするものである。

(問題点を解決する手段)

本考案は弁ボディの弁室端へ弁室内径より大き

い径の段差部を形成し、前記伸縮部材の他端部を該段差部直徑よりもわずかに小さい筒状に形成し、この伸縮部材の該他端部を段差部底へ配置した弾性リングと該筒状部内側へ配置した硬質材リングにより位置決めしたことより、弁室とピストン室を完全に遮断したことを要旨とするエアバイロット形流体用切換弁である。

(実施例)

以下に本考案の実施例を図面に基づいて詳細に説明する。

第1図は本考案の実施例である。仕切部材100によって一方のハウジングであるピストンボディ101と区分された他方のハウジングを形成する弁ボディ102および弁座押え103とで構成され、該弁ボディ102の中央部には、仕切部材100を貫通してピストンボディ101から弁棒104の先端側が突設される弁室105が形成されている。ピストンボディ101内にはピストン室106とバネ室107とが形成され、該ピストン室106には前記弁棒104を支持したピストン108が摺動可能に収容される

と共に、バネ室107には前記ピストン108を支弾して弁棒104を弁室105側へ付勢させるバネ109が収容されている。また、ピストンボディ101にはピストン108と仕切部材100間のピストン室106内に連通するパイロットポート110とピストン108の直進又は後退作動のための呼吸孔111と弁棒104の基端部が挿通される貫通孔112とが各々穿設されている。弁ボディ102の内部端部には弁室内径よりも大きい径の段差部117を形成すると共に弁棒104の軸線方向に対して外周面から直角に弁室105に連通する流入ポート113が穿設され、弁室105の底部を形成する弁座114および弁座押え103の弁棒104の延長線上には出力ポート115が貫通して形成されている。

そして、弁棒104の先端に中央部に環状突起を有する弁体116aを設け外周部(他端部)116bを段差部117の直径よりも僅かに小さい筒状に形成した逆円錐形状をしたダイヤフラムなどの伸縮部材116の先端部(一端部)を溶接あるいは接着剤にて固着し、弁ボディ102の段差部117の底部に○

リングなどの弾性リング118を配置し、筒状の外周部116bの内側へ硬質材リング119を配置し、これら弾性リング118と硬質材リング119によって伸縮部材116を固定し、弁室105とピストン室106とが完全に遮断されるように構成している。従って、伸縮部材116を仕切部材100に溶接することなく弁室105の流体がピストン室107へ浸入することを防止することができる。

なお、図中番号120は伸縮部材116の作動のための呼吸孔をなしている。

又、本考案は前記した実施例に限定されるものではなく要旨の範囲内で各種の変形を探りうるものである。例えば、第1図では2ポート2ポジションの流体用切換弁について説明したが第2図に示すようなパイロットポート150への圧縮空気信号がOFFの場合バネ151によって弁室152側へ付勢されたピストン153に固定された弁棒154の先端に取りつけられた弁体155が第二の出力ポート156を閉塞し流入ポート157と第一の出力ポート158が連通し、パイロットポート150への圧縮

空気信号がONになるとバネ151の付勢力に抗してピストン153がバネ室159側へ移動し弁体155が第一の出力158ポートを閉塞し流入ポート157と第二の出力ポート156を連通するように構成した3ポート2ポジションの流体用切換弁においても同様に実施例できることは勿論のこと、第一の実施例で用いたダイヤフラムのかわりに第2図に示すようなベローズ160の先端部を弁体155に固着し、基端部を弁ボディ161の弁室端部に設けた段差部162で弾性リング163と硬質材リング164で挟んで固定するように構成しても同様に実施でき、またバイロット弁駆動にかぎらず電磁弁駆動でも実施できる。

(考案の効果)

前記した実施例のように構成することにより弁室に供給された塗料やシンナー等の流体は、ピストン室側とは完全に遮断されてピストン室へ塗料が浸入することを完全に防止するとともに、塗料浸入防止のために設置された伸縮部材を仕切部材に溶接することなく完全に固定することができる

ため、仕切部材の材質を自由に選択することが可能となり例えはプラスチックスあるいはアルミニウムなどの軽量な材質を用いることにより切換弁全体の重量の軽量小型化に寄与することができ、塗料ロボットのハンド部等に搭載する場合等に適した流体用切換弁を得ることができる。

4. 図面の簡単な説明

第1a図は本考案による流体用切換弁の実施例の縦断面図、第1b図は第1a図のA部拡大図、第2図は本考案の他の実施例を示す流体用切換弁の縦断面図、第3図は従来例による流体用切換弁の縦断面図である。



(符号の説明)

100	・	仕切部材	101	・	ピストンボディ
102	・	弁ボディ	104	・	弁棒
105	・	弁室	106	・	ピストン室
107	・	バネ室	108	・	ピストン
109	・	バネ	110	・	パイロットポート
113	・	流入ポート	114	・	弁座
115	・	出力ポート	116	・	伸縮部材

公開実用平成1-92565

117 . . 段差部 118 . . 弹性リング

119 . . 硬質材リング

实用新案登録出願人

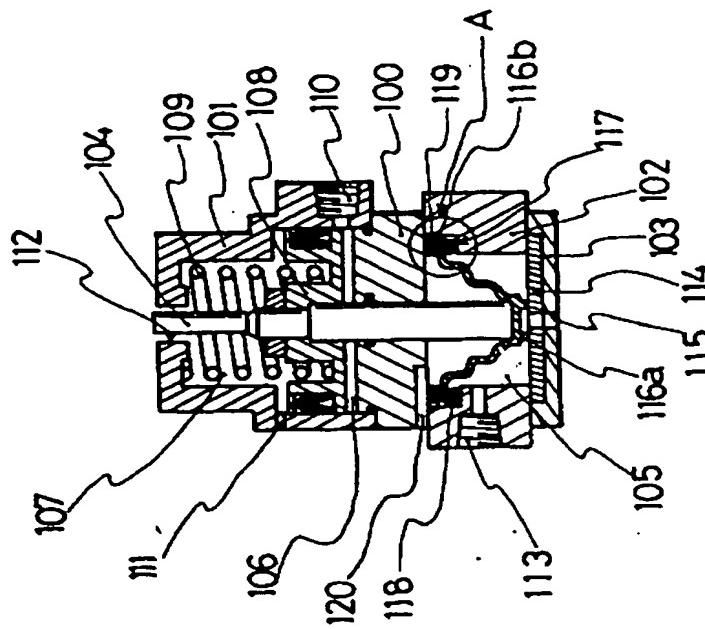
黒田精工株式会社



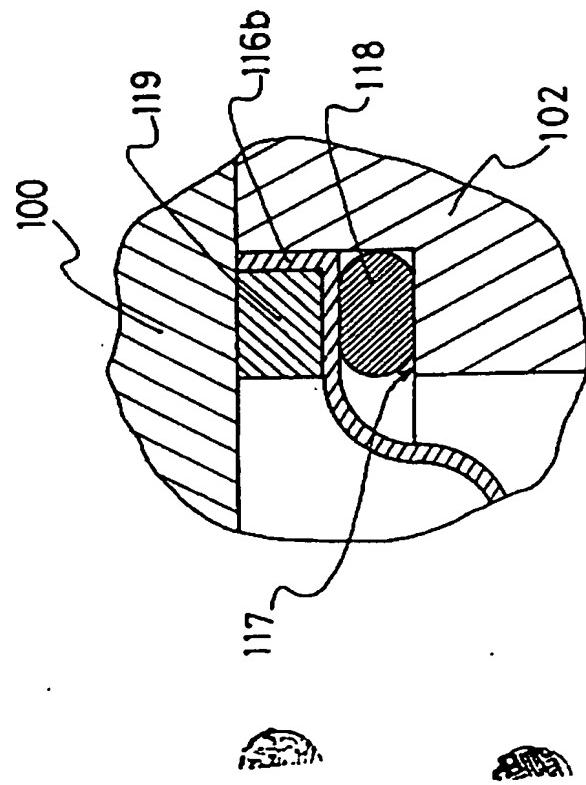
891

公開実用平成1-92565

124



四
一
第

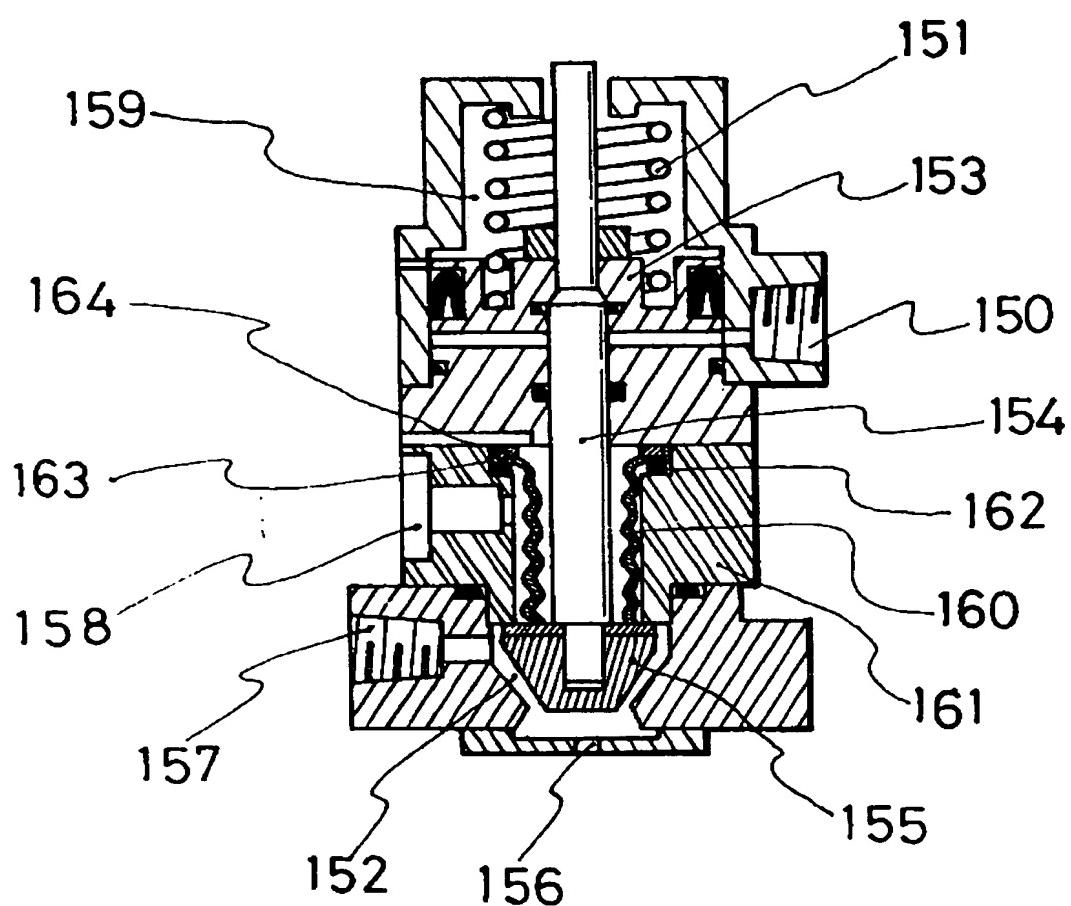


黑田精工株式会社
宝附新案登録出願人

三

卷之三

第 2 図



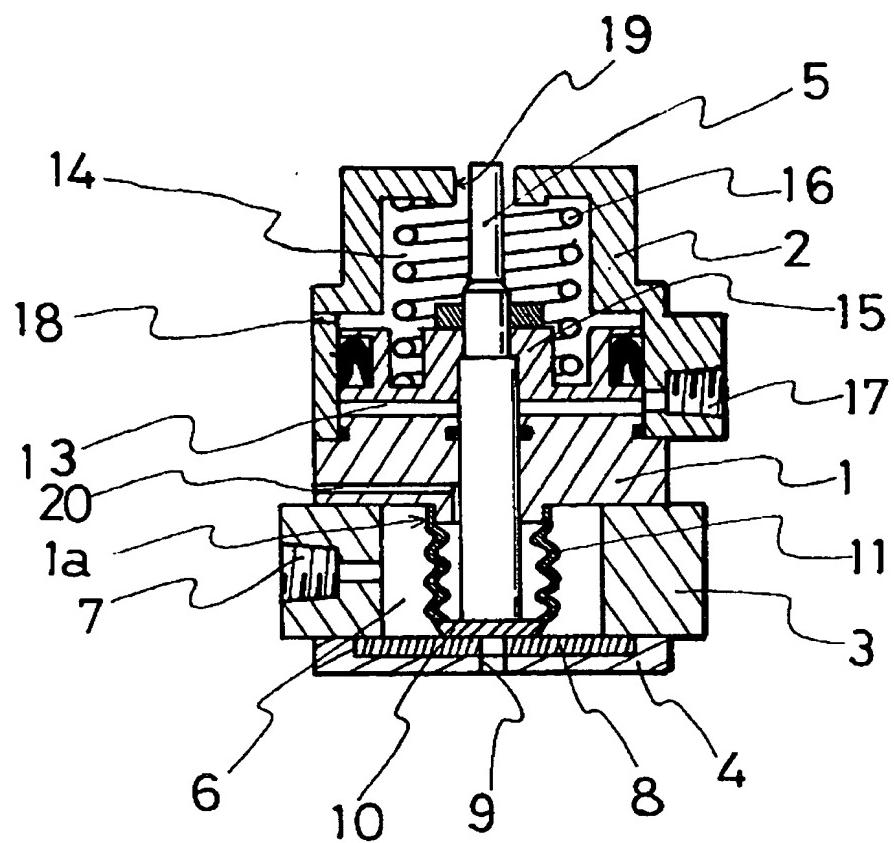
实用新案登録出願人

黒田精工株式会社

893

公開日 - 92565

第 3 図



实用新案登録出願人

黒田精工株式会社

894

昭和 1 - 92565

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS

IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

FADED TEXT OR DRAWING

BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

SKEWED/SLANTED IMAGES

COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

GRAY SCALE DOCUMENTS

LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.